

令和2年度

# 東京都教職員研修センター紀要

第20号

令和3年3月

## はじめに

東京都教職員研修センターでは、都内の公立学校が直面する喫緊の教育課題の解決を図るため、毎年、「教育課題研究」に取り組んでおり、その内容を紀要にまとめて各学校に配布し、教育課程及び学習指導等の改善・充実を支援しています。

いよいよ令和3年4月より新学習指導要領が中学校において全面実施されます。その後、順次、高等学校及び特別支援学校においても実施されていきます。今回の改訂の趣旨を実現するには、教員一人一人が自らの資質・能力を向上させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、質の高い学びを具現化していく必要があります。

こうしたことを踏まえ、当センターは今年度、以下の研究及び調査に取り組みました。

第1は、「生徒一人一人の学びを支える指導及び支援に関する研究（2年次） — 都立高等学校における読み書きの基礎につまずきがある生徒の「分かり方の特性」に応じた指導及び支援の工夫 —」です。この研究では、東京都教育庁指導部が進めている「学びの基盤」プロジェクトと協働し、都立高等学校において、生徒一人一人が自身の認知特性について理解を深めるために、役割分担を明確にした話し合い活動を取り入れた学習を開発しました。あわせて、実際の授業において活用できるよう、高等学校地理歴史科及び公民科を例とした学習指導案も作成しました。

第2は、「自尊感情や自己肯定感に関する調査研究（1年次） — 各校種における授業モデルの開発を目指して —」です。自尊感情や自己肯定感に関する調査研究から、明らかになった児童・生徒の実態についてまとめるとともに、各校種における自尊感情や自己肯定感の向上に資する授業モデルを開発しました。

第3は、「いじめ防止等の対策を推進する研究（1年次） — 東京都公立学校におけるいじめ対策の現状把握と「保護者・地域プログラム」の開発 —」です。ここでは、いじめ問題の解決に向けた保護者・地域向けのプログラムを開発するとともに、調査研究を通していじめ問題に関する児童・生徒等の実態についてまとめました。

各教育委員会及び学校におかれましては、本紀要に掲載した研究の成果及び調査の結果を教職員間等で共有していただき、各学校における教育課程及び学習指導等の改善・充実に向けて広く活用していただければ幸いです。

結びに、当センターの教育課題研究の推進に当たり、コロナ禍で多くの制約がある中、関係区市町村教育委員会をはじめ、検証授業及び調査等に御協力いただいた学校の先生方、多くの御示唆や御助言をいただいた講師の方々に厚く御礼を申し上げます。

令和3年3月

東京都教職員研修センター所長 宇田 剛

## 目 次

- 1 生徒一人一人の学びを支える指導及び支援に関する研究（2年次）  
— 都立高等学校における読み書きの基礎につまずきがある生徒の  
「分かり方の特性」に応じた指導及び支援の工夫 —  
..... 3
  
- 2 自尊感情や自己肯定感に関する調査研究（1年次）  
— 各校種における授業モデルの開発を目指して —  
..... 35
  
- 3 いじめ防止等の対策を推進する研究（1年次）  
— 東京都公立学校におけるいじめ対策の現状把握と  
「保護者・地域プログラム」の開発 —  
..... 63
  
- 参考文献・資料等 ..... 91
  
- 研究に携わった所員・講師等・教員研究生・研究協力校 ..... 93